

GM

ガバナー月信

Rotary
District 2710



2024.07

Governor's Monthly Letter vol.13

【ガバナー信条】

平和の種をまこう!!

～ロータリアンにできること～

Contents

ガバナーメッセージ/今号の表紙写真	2	公共イメージ委員長退任のご挨拶	9	ロータリー財団委員長退任のご挨拶	11
各グループガバナー補佐退任のご挨拶	3~8	会員増強委員長退任のご挨拶	10	新会員・物故会員紹介	11
地区代表幹事退任のご挨拶	9	地区奉仕プロジェクト委員長退任のご挨拶	10	会員増減・出席率/編集後記	12
クラブ管理運営委員長退任のご挨拶	9	地区米山記念奨学会委員長退任のご挨拶	10		

2023-24 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

地区ガバナーとしての1年を 終えるにあたって

国際ロータリー第2710地区 2023-24年度ガバナー 井内 康輝



地区のガバナーとしての1年間を終えるにあたって、地区に属されるロータリアンの皆様に心から御礼を申し上げます。ガバナーとして何をなすことができたかについては、忸怩たるものがありますが、任を終えることができるのもひとえに、各クラブの会長・幹事の皆様、12グループのガバナー補佐の皆様、地区委員会の委員の皆様、RLIを担われたファシリテーターの皆様など、多くの皆様のご尽力の賜物と感じております。もとより、私の属します広島南ロータリークラブの皆様には、地区大会をはじめとして多くの地区内行事を支えていただき、感謝に耐えません。

振り返ってみますと、2023年7月のガバナー就任以来、7月から11月までは、地区内72クラブの公式訪問を行わせていただきました。各クラブの有り様を直接みる機会をえて、多くの勉強をさせていただきました。やはり、ロータリーという組織はあくまでクラブの存在とその運営如何であると改めて感じた次第です。会員数の減少に悩まれているクラブもいくつかありますが、ロータリアンであることに誇りを持ち、ロータリーの活動に共感をもたれている部分があるならば、たとえ少人数であってもクラブを存続させていただきたいと考えています。

11月の地区大会では、“平和”をテーマに講演やワークショップ等を組み、青少年に対する活動の現状を知っていただける様、時間をとりましたが、必ずしも設定した時間帯が適切でなく参加がかなわなかった皆様にはお詫び申し上げます。記念事業として、2023年5月の広島でのG7サミットで来広された先進7カ国の首脳が残されたメッセージの石碑を皆様のお力で造ることができ、ご同慶の至りと思っています。

12月になり、2580地区のインターアクト生がいわゆる平和学習のために来広し、我が地区のインターアクト生と交流できたことは、平和の種として重要な活動と考え

ます。

2024年に入り、2月から3月にかけては、インターシティミーティングがグループ毎に開かれましたが、多くのグループにおいて、“平和”をテーマとした講演やワークショップが開かれ、“平和の種として”多くの学びを得ることができました。私のいう“平和の種”は、各クラブでやっておられる奉仕活動も含まれると考えており、これらの情報交換ができたことは有用でした。また、通年で各クラブの周年行事が行われ、ガバナーとしてご招待を受けましたが、各クラブの歴史を紐解くよい機会となりました。

3月には、RYLAを2泊3日間、江田島にある国立青少年交流の家で開催できました。RYLAの三木明顧問、2680地区の安行英文ガバナーにも参加いただき、青少年のリーダーシップの涵養をめざすRYLAの原点に戻ったプログラムを行うことができました。

コロナ・パンデミックのために休止していた韓国3690地区との地区間交流も、2023年11月、2024年4月のそれぞれの地区大会への相互訪問と2024年1月と3月のインターアクト生9人ずつの相互訪問とホームステイの形で復活することができました。2024年5月のシンガポールでの国際大会には、当地区から98名の参加をえて、現地では2680地区との交流会も行いました。

地区内各クラブで行われた様々の奉仕活動については枚挙にいとまがありません。今後の地区の発展の礎となる活動が行われていると実感しています。

このガバナー月信では、毎号、表紙に広島での被爆関連の慰霊碑などの写真を載せ、簡単な解説をつけました。また、コラムでは青少年の行なっている平和活動も短く紹介させていただきました。これらがロータリアンの皆様に何かお役に立つことを願っております。

1年間、有難うございました。

今号の表紙：平和記念公園・平和記念資料館 全体の俯瞰

平和記念公園の場所としては、原爆投下の翌年である1946年に中島公園が指定され、1949年には広島市主催によるコンペティションの結果、丹下健三以下3名の案が選ばれて、平和記念公園が設計・建築されることになりました。平和記念資料館も同氏による設計で、1955年に開館しました。何度か大改修を経たのち、1994年には別館の東館が完成。当初からの建物は2006年に国の重要文化財に指定され、「西館」から「本館」に名称が変更されました。



Group1 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
増井 聡彦 下関西RC



ガバナー補佐退任のご挨拶 (この1年を振り返って)

2022年10月2日、井内康輝ガバナーによる第1回ガバナー補佐会議の席上で、コロナ禍において未だ5類移行の話題さえも無かった時期にガバナーはドクターらしく「世界はマスクを外しております。私は今迄の合同公式訪問は止めて72クラブ全てを訪問する」と高らかに宣言されました。以来、本日迄ガバナーの熱い思いに圧倒されながら補佐訪問・公式訪問そしてIM開催等の任務を何とか無事に果たすことが出来たと思っております。

す。グループ1の各クラブの協議会、クラブフォーラムに参加させて頂き各クラブの特色、色々な例会運営に接することが出来た事等貴重な体験をさせて頂きました。特に印象に残っている事は、現駐日カナダ大使が高校3年生の時にロータリー交換留学生として下関に1年間滞在して日本語を覚え、並外れたキャリアを築けたとして2024年1月25日に下関市を訪問され我々ロータリアンの前で「ロータリーを忘れていません。下関に戻って感謝の気持ちを伝えたかった」と講演会の中で話されました。RI戦略計画によればロータリーの本質は「世界理解、親善、平和を推進し、地域社会の人々の生活を改善したいという情熱を持った人々の世界的ネットワーク」と書かれておりますが、私にとっては感動の対面式でありました。このような機会を与えて頂きましたグループ1の全ての皆様に感謝を申し上げお礼の言葉とさせていただきます。

Group2 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
小林 亨 萩RC



退任のご挨拶

グループ2のガバナー補佐の小林でございます。昨年の7月～9月にかけて、各クラブを訪問させて頂き、また、今年2月にはIMがコロナ禍以前のように盛大に開催ができ、各クラブの皆様には、心より感謝と御礼を申し上げます。各クラブ訪問では、コロナ禍でこれまでのクラブの活動がさまざまに制限されてきた状況をうかがうことができました。ただ、そんな中でも親睦と奉仕の活動を継続するため、非常に積極的に、また意欲的に活動に取り組んでおられる様子を肌で

感じることができました。また、IMでは平和に対する哲学を学びました。私たちの奉仕活動においては、奉仕の理想と哲学とはとても大切であり、大事な関係にあります。平和というテーマが大切なからこそ、その哲学、理念がどういったものに根差しているのか、そのきっかけを教えてください、学ぶ機会をあらためて与えてくれたような気がいたします。コロナ禍で低調となっていた親睦活動が徐々に再開され、みなさんに笑顔が戻ってきたと思うと心よりうれしく感じる最近であります。今年度、「平和」というテーマでしたが、ロータリークラブとして、各方面によりよい影響を与えられたのではないかと感じる1年であり、皆様のご協力、ご支援に心より感謝を申し上げます。私の退任の挨拶とさせて頂いただければと思います。皆様、本当にありがとうございました。



Group3 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
香川 智弘 山口RC



一年間の務めを終えて

井内ガバナーのご指導と、グループ内の皆様、所属クラブの皆様そして補佐幹事のご理解とご協力を頂いて、一年間の務めを何とか了えることができましたことに感謝し、御礼申し上げます。過去20年間、ただロータリーを楽しむだけのロータリアンだった自分にとって、補佐の役職をやむなく引き受けたことによって、ガバナーのロータリーに関するさまざまな貴重なお話を何度も（たぶん10回以上）お聞きすることができました。また、グループ内の各クラブに4回ずつ訪問させて

頂き、それぞれの特徴ある活動を見聞することができました。さらには、IMにおいて、実行委員、会長、幹事を中心にクラブ全員の力を結集して、加えてグループ内の各クラブのご協力を頂いて、ガバナー信条「平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること～」に沿った内容で集会を開催することができました。戦後、今日まで79年間続いたわが国の平和が恒久に続くよう、子孫のために、未来のために平和の種をまき続けることが今を生きている私たちの責務ではないか。したがって、この信条は一年限りではなく、常にロータリアンの信条であり続けなければならないと思います。一年間、ガバナー補佐を体験させていただいて得ることのできたものすべてを心の財（たから）として、残された余生を生きたいと願っています。皆様ありがとうございました。

Group4 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
和田 巧 光RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

2022年10月よりガバナー補佐という未知の役目を拝命し、ガバナー補佐会議に加藤ガバナー補佐幹事と出席してから早いもので1年半が過ぎようとしています。当初は、自分にガバナー補佐が務まるのだろうか？と大変不安でしたが、2023-24年度RI会長ゴードンRマッキナリー氏テーマ“Create Hope in The World”（世界に希望を生み出そう）、そして第2710地区井内康輝ガバナーのガバナー信条である“平和の種をまこう!!～ロータリアンにできること～”を念頭に置きなが

ら、グループ4の5クラブ会長、幹事さんをはじめ会員の皆様へガバナー公式訪問に向けた事業テーマとしての発表や質問を投げかけ、5クラブのガバナー公式訪問も無事終えることができました。井内ガバナーの優しい人柄にも支えられて、何とか乗り切る事ができた様に思います。本年の2月17日の第2710地区グループ4 IMも光ロータリークラブ主催で、5クラブのご協力のもと会員多数の出席をいただき大盛会で無事終える事ができました。

残すところあとわずかと成りましたが、これまで私を支えてくれた加藤ガバナー補佐幹事をはじめ通山会長、藤井幹事代行、またIMの吉井実行委員長をはじめとした実行委員の皆様、光ロータリークラブの会員全員とグループ4の皆様にお礼を申し上げて、退任の挨拶とさせていただきます。本当にご協力ありがとうございました。



Group5 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
和田 実 柳井RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

今年度ガバナー補佐として不安と緊張を抱きながらスタートした1年も早いもので終わりを迎えようとしております。この1年間、井内康輝ガバナーをはじめ、G5の各クラブの会長・幹事様ならびに会員の皆様には大変お世話になり誠に有難うございました。特に公式訪問前のクラブ協議会では、自身の準備不足と勉強不足により満足のいく協議会とは程遠い協議会となってしまう、ご心配やご迷惑をお掛けすることとなりました。そうした状況にも関わらず、数々の激励のお言葉を頂戴したことは大変嬉しく会員の皆様のお心遣いに

改めて感謝申し上げます。そのおかげもあって何とか1年間補佐としての務めを全うすることができたと思っています。また、本年2月に開催致しましたIMに於いても、多くの会員の皆様にご出席をいただいたことにより無事成功裏に終えることができ重ねて御礼を申し上げます。

ガバナー補佐としての1年は、私にとりまして非常に良い経験をさせていただきました。各クラブの会員の皆様と親しくさせていただく中で、今までの認識を正す良い機会となりました。今後は、この度の経験を生かすべく精進して参りたいと思いますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、G5各クラブの益々のご繁栄と、会員の皆様のさらなるご活躍を祈念し、退任のご挨拶と致します。

1年間大変お世話になり、誠に有難うございました。

Group6 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
小林 英生 広島安芸RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

2009-10年度会長を務めてこのような大役は回ってこない、親睦を中心としたロータリーライフを楽しんでいたところ、青天の霹靂、クラブ戦略計画委員会で決定されお引き受けした次第です。当時の心境はこのような大役が果たせるか不安だらけでした。

活動が制約されたコロナ禍の2年間は充足感がない、感動がない、もやもやとした日々でした。クラブのために、自分のために勉強して環境を変えてみようという気持ちがおこり、それがお引き受けした一因でもありました。

グループ6は7つのクラブで構成されており、クラブ協議会・ガバナー公式訪問・地区大会・IMのご案内と各ロータリークラブに4回訪問させて頂きました。皆様に温かくお迎えしていただくとともに、各クラブの今後の方針・現在の活動状況・課題等を親しく懇談させて頂きました。そして、奉仕活動・委員会活動の取り組みの歴史と熱意に感銘を受けました。

大きいクラブ小さいクラブそれぞれ特色があり、悩みがあり、真剣にロータリー活動に取り組んでおられるなかで、会員増強に関しては規模の小さいクラブほど大変ご苦勞をしておられるなど感じました。

最後になりますが、多くのかたがたにお会いでき、すばらしい人柄に触れることができました。たいへん刺激を受け、多くのことを勉強させて頂くとともに、ご協力ご理解を頂いたすべての方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



ガバナー補佐退任の挨拶

私がクラブ会長の時、G7のガバナー補佐、IMを当クラブが担当されたので、こんなに早くIMが回ってきたのかと思いつつ、身の引き締まる思いで、ガバナー補佐の仕事を引き受けました。

ガバナー補佐就任の準備に、ガバナー補佐向けのコースを受講し、ガバナー補佐の責務、役割を果たしたつもりでしたが、半分も成し遂げることができませんでした。しかしクラブ訪問で、いろいろなことが勉強できたことはうれしい限りです。それぞれのクラブには、当然ながら特徴ある伝統と雰囲気があり、例会場に入るだけで、その

熱いエネルギーを感じることができました。そしてガバナー訪問前の協議会での各クラブの質問項目をできるだけガバナーに忠実に伝えたつもりでしたが、ガバナーのその答えにどれだけ満足していただいたかは今後の各クラブの成果に現れてくると期待しています。

G6, 7合同のIMでは、ある映像にあったウクライナの厳しい戦火のなか防空壕で一生懸命将来留学するために勉強している女子学生が、我々に最後に言ったメッセージ「I have a dream」をIMの主題（副題「かけがえのない命を考えて」）にしました。国府台名誉院長上村先生とティムラズ・レジャバ駐日ジョージア大使に、それぞれ全く違ったフィールドでの貴重な経験の講演をしていただきました。

最後にG7の会員の皆様と2人のガバナー補佐幹事、村上様、吉川様に支えていただき、どうか役割を果たすことができましたことに御礼を申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐退任の御挨拶

2023-2024年度グループ8のガバナー補佐を仰せつかりました宇都宮と申します。

正直自分にとっては過大な仕事だっただけに『あー、やっとガバナー補佐年度を終えられる。』という安堵の気持ちが先に立ちます。

年度を迎える前に大先輩の大之木パストガバナーにご相談に行き、ガバナー補佐としてすべき事項と注意点等をご相談させていただけたこと、そしてそれらに対して明快なアドバイスをいただけたこともあって、幾分かではありますが気持ち

の面で楽になったような気がしました。

とはいっても毎回毎回緊張の連続で自分なりに何処までお役に立てたかは分かりません。というよりは各クラブを訪問させて頂くことによって、それまで知らなかったことを知り、クラブによって違う問題を抱えていることを理解したり、或いは例会においても自クラブとは違った手法を取り入れて運営されておられたり、それらも含めて随分勉強になったような気がします。

グループ8では井内康輝ガバナーの意向を受けまして、ガバナー公式訪問では全てのクラブでRLI形式ディスカッションを取り入れました。特に会員数の少ないクラブでは出席されたすべての会員の方が井内ガバナーと直接お話してきたことを随分と喜んでおられたのが印象的でした。グループ8の皆様、一年間本当にありがとうございました。



Group9 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
田坂 潤 三原RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

2020年3月より新型コロナウイルス感染拡大防止緊急事態宣言が発出され、ロータリークラブ活動にも多大な影響を受けてきましたが、2023年には感染症5類に指定され、ほぼ平常になりました。

井内ガバナーの信条「平和の種をまこう!! ～ロータリアンにできること～」をテーマに、公式訪問やIM開催を通じてG9各クラブに於ける活動のあり方を学ぶ1年でした。

各クラブの社会奉仕活動、親睦活動、例会運営、同好会には特色があり歴史を受け継がれているこ

とも学ばせていただきました。

私ごとになりますが、上田宗箇流の茶道を習っていきまして、クラブメンバーを招いて茶会をしています。まだまだ未熟ですが、その未熟さが新たな輝きとなります。

今後のロータリー活動におきましても、まだまだ不勉強ですが、ガバナー補佐としての学びと経験を活かして歩んでまいります。

2710地区役員・事務局の皆様や、G9、尾道RC・尾道東RC・因島RC・竹原RC・広島空港RC・三原RCの皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

Group10 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
矢吹 泰孝 福山東RC



ガバナー補佐退任のご挨拶 (1年を振り返って)

この1年、井内ガバナーの補佐役として、グループ10の各クラブを4回ずつ訪問させて頂きました。各クラブとも個性があり、歴史があり、雰囲気の違いを肌で感じました。

自クラブしか知らない私としては、ある意味、興味津々でもありました。

各クラブともそれぞれ抱えている問題意識を会員の皆様は共有され、その解決に努力されているように思いました。AGとして地区とクラブをつ

なぎクラブの活性化の為に役に立てたかどうかは分かりませんが、井内ガバナーの信条であります「平和の種をまこう」というテーマに各クラブとも真剣に向き合って頂きました。日々の奉仕活動が平和の種をまくことになり、それがクラブの活性化に繋がることを再認識していただいたと思っています。

IMでは「平和と教育」というテーマで基調講演して頂き、またパネルディスカッションでは複数のクラブの代表の方に奉仕活動の事例報告と活動の継続性についての課題も話し合っていました。本当に大勢の方々のご協力をいただき感謝に堪えません。

AGの活動を通して、いろいろな経験をさせて頂き、また多数の方々を知り合いになりましたことは大きな無形の財産になったと思います。この貴重な経験をさせて頂いたことに心から皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

Group11 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
中根 洋一 松永RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

ガバナー補佐を拝命して以来、「平和の種をまこう!! ~ロータリアンにできること~」井内ガバナーの熱い想いと、G11の各クラブの会長、幹事様の想いを繋ぐ事が出来る様に努力をした一年でした。クラブ協議会やクラブフォーラムではRLI方式を採用し、クラブが抱えている問題やクラブの活性化に向けて、積極的な意見交換を実施しました。

G10・11の合同IMでは、300人を超える参加者、他のグループのファシリテーターの皆様にもご参

加いただき、基調講演では、「平和と教育」をテーマとし、第2部では、各クラブの情報交換の場として、平和の種である奉仕プロジェクトの紹介と、次年度に向けて各クラブのプログラムのマッチングを目指しました。福山東RCの小西直人様にファシリテーターをお願いし、積極的な意見交換が出来ました。懇親会では、福山西RCが長年支援している、地元中学校の吹奏楽アンサンブルで、たいへん和やかな中、各クラブの親睦をはかる事が出来ました。5月末にはシンガポールの世界大会にも多くのロータリアンにご参加いただき、たいへん貴重な体験をさせていただきました。この様な機会を与えて下さった皆様、また補佐幹事として一年間随行してくれた上野彰大様、ありがとうございます。

たいへん多くの人との出会いに心から感謝申し上げます。今後、各クラブが益々元気になり、活気あるロータリーライフを楽しみましょう。

Group12 グループ

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度 ガバナー補佐
中間 幸子 庄原RC



ガバナー補佐退任のご挨拶

2022年10月2日、2023-24年度のガバナー補佐を拝命し本日まで5クラブの訪問、IM案内の挨拶で廻る中、クラブの皆さまともしっかり交流を深め、各クラブそれぞれの特徴、得意分野を知ることが出来、自身も成長することが出来ました。

井内ガバナーの信条である、「平和の種をまこう!! ~ロータリアンにできること~」を基にグループにおいては平和の種を探しながら5クラブが積極的に行動する中で全員が新しい一歩を踏み出し前進が出来たと思います。

4月6日のIMは基調講演に宇部西RC小児科医金子淳子先生をお迎えして「すべてのこどもたちの“ウェルビーイング”のために~ロータリアンができること~」と題して奉仕の状況を映像で紹介、講演をして頂きました。

準備段階では宇部西RCを訪問、金子先生にも事前に庄原に来ていただき交流する中で意気投合し絆を結ぶことが出来たことは、ガバナー補佐任務中で掴んだ大きな宝となり一生の思い出です。準備中の私設「ひまわり食堂」も運営のアドバイスを受け3ヶ月を経過し順調に進んでいます。G12のクラブの皆様も受けて心強く社会奉仕に向けて新しい一歩を踏み出すことが出来ました。

この一年間井内ガバナーには、平和について多大なご指導を頂きガバナー補佐として任務を全うできたことに感謝の思いです。ありがとうございました。



国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
地区代表幹事

伊藤 學人 広島南RC



退任のご挨拶

2年半前「地区代表幹事を」と、井内ガバナーからお声掛けを頂いてから「あっ」という間に月日は過ぎ、皆様にお礼を申し上げる時期が来てしまいました。歴代ガバナーを訪問し、そのご経験と現在のロータリーに対するご懸念をお伺いする旅から始まり、ガバナー補佐が主催する各グループの会長・幹事会、地区研修会、公式訪問と数多

くの経験をさせて頂きました。特に公式訪問では、クラブの規模に関わらず各クラブが真面目に『カネと人手』をかけておられる姿に直面させて頂きました。更に、訪問した各クラブの会長・幹事には心温まる歓迎を頂いたことは私の人生でも良き思い出となるものと確信しています。加えて、広島南ロータリークラブの皆さんにも地区への出向、地区大会の実行等々数えきれないご迷惑をお掛けしたことを心からお詫び申し上げます。最後に、地区内の各クラブの皆様の今後のご活躍を祈念することで感謝の言葉に替えさせていただきます。

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
クラブ管理運営委員長

高田 諭 広島南RC



クラブ管理運営委員長退任のご挨拶

今年度のクラブ管理運営委員長を拝命するにあたり、クラブ管理運営とは…？からスタートしました。委員会で取り上げる事案が余りにも幅広く、悩みぬいた結果辿り着いたテーマは「クラブ運営の活性化策を探る」でした。2023-24年度のロータリー活動がコロナ禍以前の運営状況に戻るであろう事を想定し、今一度クラブ運営の在り方を再

確認する内容とさせて頂きました。

基本方針を「クラブの現状を把握し、今後の取り組みに反映する」とし、地区研修・協議会で分科会を開催いたしました。2710地区内72クラブ其々に歴史や伝統があり会員数や規模も違うため、一括りに考え答えを導き出すのは困難ではありますが、アンケート結果は比較がしやすいようクラブ会員数別に集計しました。同規模クラブの状況を参考に、自クラブの現在地や今後の取り組みに反映して頂ければ幸いです。

関係各位のご協力に感謝し委員長退任のご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
公共イメージ委員長

越智 基浩 広島南RC



公共イメージ委員長退任挨拶

昨年の地区研修・協議会の分科会において実施をしたアンケートに対し、各クラブそれぞれのご意見、ご回答を頂きました。「平和の種をまこう」の井内ガバナーの信条を受けて、平和に関する質問を設けました。平和活動に携わる各クラブの活動内容もまとめて報告することが出来ました。

分科会では、カウンセラー、杉川パストガバナーによる「ロータリー奉仕デー in マツダスタジアム」、並びに広島西ロータリークラブの土井、藤田会員によるYouTubeを活用したクラブ紹介の発表を頂くことが出来ました。公共に対してロータリーのイメージが十分に発信出来て、十分に理解をして頂ける実例をあげて、いかに公共イメージの向上が必要であるかを説いて下さいました。1年間、委員長を務めることが出来ましたのも、杉川パストガバナー、各クラブの公共委員会の皆様、地区事務局の皆様のお陰と心から感謝を申し上げます。

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
会員増強委員長

前川 拓也 広島南RC



会員増強委員長退任のご挨拶

思うような会員増強活動ができなかったコロナ禍が過ぎ去りましたが、会員増強はクラブにとって永遠のテーマです。

地区として、昨年度5月の地区研修・協議会の分科会では各クラブから頂いた貴重な会員増強に関するアンケートやグループディスカッション等から会員増強への取り組みや手法を情報共有して

頂きました。また2022年からスタートした地区からの助成金を活用してのオープン例会を本年度も実施いたしました。昨年と比較し、計画・実施したクラブ数、オープン例会参加者ともに大きく増加しました。

今後も、より多くのメンバーに会員増強に取り組んで頂き、魅力のあるクラブを目指していただきたいと思います。

本年度、取り組みが充分でない分野もありましたが、1年間ご指導いただいた地区役員、地区事務局ならびに委員会メンバーの皆様へ感謝申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第2710地区
2023-24年度
地区奉仕プロジェクト委員長
竹内 徳将 広島南RC



奉仕プロジェクト委員長退任挨拶

奉仕プロジェクト委員長として、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の4つの部門を担当し、新型コロナから回復しつつある奉仕活動がさらに活発になるよう、地区内各クラブの委員長をお願いを致しました。

社会奉仕部門では「環境問題の出前授業」の提唱を行い、関心を持って頂きました。

国際奉仕部門では、海外とのやり取りで英語以外の言語で難しさがあったとの事例がありました。AIの進歩で取組みやすくなればと思います。

職業奉仕部門では、クラブとしての活動の在り方による提言はできませんでしたが、会員個人で実践されているこの職業奉仕は、他の奉仕団体との大きな違いであり、ロータリーの大きな魅力があります。

それぞれの委員会に垣根はありませんので、次年度も益々奉仕活動が活発になりますよう、お祈りいたします。

国際ロータリー第2710地区
2021-24年度
地区米山記念奨学会委員長
澤田 健規



米山は楽しい!

「米山は楽しい!」パストガバナー、委員会メンバーの皆さんがよく口にされます。他の地区委員会の皆様には申し訳ございませんが、確かに「米山は楽しい!」。海外からの学生たちと接することは楽しくないはずがない。

2021-22年度から3年間委員長を務めさせていただきました。この間奨学生たちを受け入れてく

ださいました世話クラブ・カウンセラーの皆様には、大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

年に2回地区委員長が一堂に会するセミナーが開催されます。全国の委員長の皆さんと活発な意見交換をさせていただきますが、そのたびに2710地区は米山に対する意識が高く、ある意味地区米山記念奨学会の模範的な地区だと自負しております。

今後とも、皆様のご支援をお願い致します。

国際ロータリー第2710地区
2019-25年度
ロータリー財団委員長
山本 清 呉南RC



一年を振り返って

1917年アーチ.C.クランプ会長の【世界でよいことをするため】に基金を設立しようとの提案に基づき設立されたロータリー財団の使命は『ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです』。この使命に基づき2024-25年度のグローバル補助金奨学生として小林萌子様、磯部由美様、近森由衣様、地区補助金奨学生として久保尚美様が承認されました。4人とも大変優秀な学生さんで将来が楽しみです。

地区研修・協議会では元グローバル補助金奨学生の小田佳世様、元地区補助金奨学生の近藤桃乃様の活躍している姿をビデオレターで御覧頂きました。又、地区補助金プロジェクトは16件、海外視察が1件承認されましたが、まだまだ少ないと感じています。地区補助金の判定基準に沿っていただければ全ての申請が合格となるようにアドバイスさせていただきますので担当財団委員と相談してどしどしチャレンジして下さい。又、グローバル補助金プロジェクトを実施すると、ステファニー .A.アーク次年度RI会長がドミニカ共和国の浄水器の設置活動で人生が変わったように、地区補助金プロジェクトでは味わえない、世界でよいことをした時の感動を味わって頂く事が出来ますので是非チャレンジして頂きたいと思っております。次年度は皆様のクラブから沢山の補助金申請が提出されます事を祈念しつつ、年間回顧とさせていただきます。一年間ありがとうございました。

《国際ロータリー第2710地区 新会員・物故会員紹介》



岡 孝子
下関東
2024年4月18日
菓子製造販売



升本 拓
下関東
2024年4月18日
フィナンシャルプランナー



中原 義邦
下関北
2024年5月1日
信用金庫



南野 澄夫
防府
2024年5月13日
建設業



益本 昭男
防府
2024年5月13日
地方銀行



高藤 誠至
防府
2024年5月13日
地方銀行



河村 文武
周南西
2024年5月14日
地方銀行



浦部 大輔
徳山
2024年5月16日
証券業



渡邊 康弘
徳山
2024年5月16日
商業銀行



高本 光
広島
2024年5月14日
筆製造



小原 章義
広島東
2024年5月8日
不動産開発



村越 和也
広島北
2024年5月16日
司法書士



繁田 正信
呉
2024年4月11日
医療センター



岩本 浩二
呉
2024年5月9日
信用金庫



佐藤 裕宣
呉
2024年5月9日
生命保険



田原 浩
呉
2024年5月23日
総合病院



古谷 雅典
呉東
2024年5月15日
商業銀行



藤村 浩司
尾道
2024年4月5日
電気事業



能宗 紀雄
尾道
2024年4月12日
皮膚科医



橘高 健二
福山
2024年5月13日
情報サービス



太田 尚典
福山
2024年5月20日
総合建設業



安島 嶺平
福山北
2024年5月10日
証券業



有野 和彦
福山南
2024年5月16日
造船加工業

謹んで追悼の意を表します



尾道東 故 徳永 素久 殿
ご逝去（享年74歳）2024年5月15日
【ロータリー歴】
2015-16年度 会長
ベネファクター
ポール・ハリス・フェロー +2
第4回米山功労者マルチブル
【職業分類】 冷凍倉庫業

《国際ロータリー第2710地区 2023-24年度会員増減・出席率 (2024年5月度)》

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
1	長門	95.20	21	23	3	3	1
	下関	69.31	45	44	2	5	6
	下関中央	75.15	40	43	6	4	1
	下関東	74.97	62	68	6	7	1
	下関北	73.57	65	58	5	3	10
	下関西	86.21	31	34	1	6	3
計	79.07	264	270	23	28	22	
2	萩	97.56	49	46	3	2	5
	萩東	95.95	24	25	1	3	2
	美祿	82.03	19	20	1	3	2
	小野田	83.56	33	34	2	2	1
	宇部	92.65	43	40	3	1	4
	宇部東	74.56	10	10	1	0	0
	宇部西	88.77	50	52	5	3	1
計	87.87	228	227	16	14	15	
3	防府	86.21	50	56	1	9	3
	防府北	90.18	22	25	4	5	2
	防府南	79.42	45	44	9	2	3
	山口	88.57	40	48	5	12	4
	山口県央	89.53	26	26	1	2	2
	山口南	94.26	40	41	8	5	4
計	88.03	223	240	28	35	18	
4	光	75.53	51	55	3	5	1
	周南西	81.73	57	56	6	6	7
	徳山	99.04	44	43	2	6	7
	徳山セントラル	75.83	22	21	2	0	1
	徳山東	100.00	43	42	1	2	3
計	86.43	217	217	14	19	19	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
5	岩国	79.61	62	66	0	9	5
	岩国中央	84.57	40	39	6	2	3
	岩国西	86.81	59	60	5	3	2
	柳井	99.78	28	28	2	4	4
	柳井西	90.65	25	27	7	3	1
	計	88.28	214	220	20	21	15
6	広島	98.75	113	123	2	23	13
	広島安芸	98.37	41	40	3	1	2
	広島安佐	87.26	17	17	1	1	1
	広島東	96.53	108	112	10	12	8
	広島北	94.06	104	103	0	4	5
	広島陵北	92.09	48	46	2	1	3
	大竹	84.68	27	28	0	3	2
計	93.11	458	469	18	45	34	
7	広島中央	100.00	72	70	6	2	4
	広島廿日市	92.38	20	25	2	5	0
	広島城南	99.26	40	41	3	1	0
	広島南	100.00	87	84	0	2	5
	広島東南	100.00	93	95	11	10	8
	広島西南	96.35	63	62	1	5	6
	広島西	99.40	89	91	5	2	0
計	98.20	464	468	28	27	23	
8	江田島	91.64	18	17	0	0	1
	東広島	82.78	22	23	2	1	0
	東広島21	82.49	16	17	4	2	1
	呉	86.29	73	75	4	8	6
	呉東	81.88	32	30	2	1	3
	呉南	88.71	56	54	2	1	3
計	87.13	255	255	16	19	19	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数				
			年度初 7/1	当月 末日	本年度 入会 退会		
9	広島空港	80.55	28	28	2	0	0
	因島	97.49	16	17	0	2	1
	三原	90.74	49	51	0	4	2
	尾道	73.49	80	76	3	2	6
	尾道東	91.10	49	48	7	1	2
	竹原	79.11	11	11	2	1	1
計	85.41	233	231	14	10	12	
10	府中	94.79	17	14	2	0	3
	福山	92.56	86	86	2	8	8
	福山東	74.63	42	40	3	0	2
	福山丸之内	87.91	29	27	1	3	5
	鞆の浦	84.44	21	20	0	0	1
	福山REC2710※	98.99	8	9	1	2	1
	計	88.89	203	196	9	13	20
11	福山赤坂	70.57	52	53	4	2	1
	福山北	94.08	30	31	2	2	1
	福山南	74.47	56	59	2	6	3
	福山西	86.52	36	40	5	6	2
	松永	89.54	49	55	4	6	0
	計	83.04	223	238	17	22	7
12	吉舎	82.88	10	10	0	0	0
	三次	79.37	38	41	2	4	1
	三次中央	91.86	34	36	5	2	0
	庄原	94.44	37	29	3	0	8
	東城	79.06	14	14	1	1	1
計	85.52	133	130	11	7	10	
第2710地区計	87.35	3115	3161	214	260	214	

※正式名称 [福山ロータリーEクラブ2710]
 ※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。

編集後記

2023-24年度ガバナー月信を13号までお読みいただき、誠にありがとうございました。本年度ガバナー月信では井内ガバナーの信条に沿い、表紙には数々の平和に関するモニュメント等の写真を起用しました。併せて、表紙をめくった2ページ下には表紙写真の説明文を掲載。編集委員ではこれらの写真撮影・選別と説明文作成をみんなで担当してきました。さらに、なるべく多くの方に読み進めたいと思っていただけるように、文字量・文字サイズ・行間を意識した上で紙面レイアウトを練り制作してきました。

一方、道半ばにしては毎月発行し続ける困難にも直面しました。そのような中、どうにか最後までやり遂げることができたのも、ひとえに皆様のご協力のおかげです。

最後になりますが、特別月間の記事をはじめ行事報告など原稿を寄稿いただいた皆様、そして寄稿依頼から校正連絡など多岐にわたって支えてくださった地区事務局の皆様、ご協力いただいた全ての方に、この場を借りて深く感謝申し上げます。

2023-24年度 月信編集委員会